



葉山町

# 議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111  
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成24年11月16日

No.

110

## 第3回(9月)定例会

- 平成23年度決算認定関連記事…………… 2～5ページ
- 委員会レポート…………… 8～9ページ
- 第三次葉山町総合計画後期基本計画策定について…………… 10～11ページ
- 一般質問 (12人登壇)…………… 14～19ページ



葉小ズ・ロック・ソーラン



第3回  
9月  
定例会

平成23年度決算を審議

一般会計決算を認定

4特別会計決算も認定

第3回定例会を9月5日から10月11日まで開催しました。町長から平成24年度一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の補正予算など、19議案が提出されました。また、町長行政報告や健全化判断比率等の報告及び、住民等からの陳情が5件提出されました。

決算に対する総括質問は5人、行政の問題点に対する一般質問は12人が行いました。

「決算特別委員会」

決算の審査に当たっては、まず6人の決算特別委員会（委員長・待寺貞司、副委員長・窪田美樹、鈴木道子、中村文彦、長塚かおる、金崎ひさ）を設置し、9月18日から9月27日まで関係部課長などの出席を求め、予算執行状況等を慎重にチェックしました。

10月5日の本会議では、決算特別委員会の審査結果報告を受け、5人の議員が、それぞれ討論を行い、一般会計決算を認定しました。その他4特別会計決算も認定しました。

平成23年度 各会計別決算状況

区分 会計別	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額	
一般会計	93億8,676万4,226円	95億1,580万9,441円	89億3,865万6,460円	5億7,715万2,981円	
特別会計	国民健康保険	37億 83万2,000円	37億6,507万8,594円	35億8,076万7,919円	1億8,431万 675円
	後期高齢者医療	7億2,776万0,000円	7億2,587万7,658円	6億8,317万3,216円	4,270万4,442円
	介護保険	23億6,241万5,000円	22億3,123万7,708円	22億 376万 903円	2,747万6,805円
	下水道事業	12億4,445万7,000円	11億5,233万5,298円	11億1,584万2,459円	3,649万2,839円
	小計	80億3,546万4,000円	78億7,452万9,258円	75億8,354万4,497円	2億9,098万4,761円
合計	174億2,222万8,226円	173億9,033万8,699円	165億2,220万 957円	8億6,813万7,742円	

# 決算特別委員会審査

## どんな成果があったか 事業ごとに審査しました（主な事業）

神奈川県町村情報システム共同事業  
（1億111万3千円）

\*情報の連携による住民サービスの向上を図った。

地球温暖化対策事業  
（597万円）

\*一色台団地街路灯LED化改修工事を行った。

\*住宅用太陽光発電システム設置補助を行った。

総合計画審議会運営事業  
（41万7千円）

\*後期基本計画案について審議会を開催した。

真名瀬漁港再整備事業  
（1788万6千円）

\*船揚場改修工事等を行った。

消防団活動事業  
（645万5千円）

\*トランシーバー等装備品を購入した。

葉山南郷地区活性化事業  
（1171万8千円）

\*現況調査・実験販売調査を行った。

防災対策事務運営事業  
（401万1千円）

\*洪水ハザードマップ作成・海抜標識作成・取付等・放射能検査を行った。



真名瀬漁港再整備事業

## 決算審議総括質問

こんな点が気がかり

質問者の提出原稿を基に編集しています

9月11日・12日両日に23年度決算に対し総括質問を5人の議員が行いました。

守屋 巨弘  
（無所属）

問 平成23年度一般会計決算における経常収支比率が100・9%となった要因は。

町長 前年度比1.7ポイント増となった要因は、比率算出上の分母に当たる経常一般財源等歳入が前年度対比約2億300万円弱となった一方、分子に当たる経常経費充当一般財源等歳出は前年度対比3億1300万円強の増となったことだ。

問 平成22年度1トン当たりごみ処理経費は6万282円、23年度実績は。

町長 ごみ処理経費8億788万円を、ごみ量1万2406トンで割り、6万5096円だ。

問 公共下水道事業で平成19年度から5カ年間の第4次5カ年計画終了後の総事業費及び整備面積それぞれの実績は。

町長 5年間の実績は総事業費約66億5300万円、整備面積53・9ヘクタールだった。

長塚かおる  
（無所属）

問 いじめ対策について。教育長 いじめはどここの学校でも起こりうるという認識のもと、学校と関係機関と連携して、未然防止はもとより早期発見、迅速かつ適切な指導・支援にあたる。

問 小6と中1では、いじめ件数が倍以上に増えるが、その対策について。教育長 インテリジェントティーチャーを8人配置し、正規教員と一緒にチームティーチングを進め、安定した情緒のもと基礎学力の向上を図り、中1ギャップの改善に努めている。

新規滞納を発生させないよう取り組む。

問 下水道事業、焼却灰等運搬事業、し尿処理運搬事業の評価は。

町長 下水道事業は約9.2ヘクタール整備した。焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

問 保護者や先生へのケアについては。

教育長 教育相談、スクールカウンセラー、心の教室の3つの柱で対応する。

問 早期発見について。教育長 小中学生に個別面談や学期ごとの振り返りシートを活用し、問題点を学年・学校で共有して解決にあたっている。

横山すみ子  
（新葉クラブ）

問 町税等の徴収率改善の評価と課題を伺う。

町長 県の短期派遣職員とともに、差し押さえを前提とした滞納整理をした効果が考える。今後、

町長 町税等の徴収率改善の評価と課題を伺う。

焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

問 焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

町長 焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

町長 焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

町長 焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

町長 焼却灰等運搬事業は、町外に複数の委託先を確保し処理している。

窪田 美樹  
（日本共産党）

問 予備費充用の要因に施設の老朽化があげられているが、改修計画は。

**町長** 現状を把握し、取りまどめを行っている。

**問** 100・9%の経常収支比率をどう受け止めるか。

**町長** 財政的に硬直しており、その度合いを柔軟化させなければいけないという意識は持つが、経常的経費を考えればまだ行政が行える数値である。我々が一定の我慢をすることにより、将来の子供たちを含めた本当の幸福が訪れると考える。

**問** 財源として、町民福祉に使える臨時財政対策債を活用すべきでは。

**町長** 広告掲載などを増やし財源とする。

**問** 経常的経費の削減は。

**町長** 事業を新たな方策に変えるなどコスト削減を図る。

**問** 26・7%と高齢化率が高い町の施策は。

**町長** 保健師の訪問指導を積極的に行うなど、様々な支援を行った。

**問** し尿浄化槽汚泥下水道投入施設建設は、敷地面積の確保ができず、計画していた建物が建築できなかつた。どのように解決するのか。

**町長** 下水道終末処理場へ直接投入する検討をしている。できるだけ早急に施設建設を行いたい。

**問** 地域経済の活性化のため、リフォーム助成制度の充実策は。

**町長** 商業の活性化に資するものについてあらゆる方策を考えたい。

**問** 自治基本条例制定への基本的な考え方は。

**町長** 住民参加ルールの方角づけのために必要な調査・研究をし、民意反映の手法を推進する。

**問** 公共下水道計画の今後の方針は。

**町長** 合併浄化槽導入を進めて公共下水道全体計画区域の見直しを行う必要がある。しかし、代替策の合併浄化槽での整備を進める上での諸課題を検討する必要がある。

9月18日から24日まで関係部課長などの出席を求め、細部にわたり審査を行い、9月27日に町長に対し3項目の質問を、教育長に対し2項目の質問をし、委員会の意思決定を行いました。

**質疑**

**問** 経常収支比率が100%を超えた。臨時財政対策債を活用すれば回避できたが、その対策を採らなかつた。今後、どのような改善策を図るのか。

**町長** 比率を下げることは大事だが、起債により数値を下げる手段は用いない。今年度は人件費の削減を図ったが、税金や料金の徴収率を上げることが第一に、広告などの収入を増やしていきたい。

**問** 横浜方式のプライマリバランスの堅持と、町民福祉向上の、どちらを大事に考えているのか。

**町長** 両方大事だが、全体的には町民生活の向上と、将来の子どもたちの安心な生活を望んでいる。

**問** 合併浄化槽の導入を前面に打ち出し当選した町長が、平成23年度は合

併処理浄化設置整備事業補助金が、未執行であった事をどう考えるのか。

**町長** 補助金制度や啓発活動など、なるべく早く何らかの方策を示したい。

**問** 子どもの放課後居場所事業で、学校を使用することを断念したのか。

**町長** ベストは学校だと思いが、学校の状況を考慮し学童や児童館の充実など次の手も検討する。

**問** 子どもの居場所事業の総括について

1 子どもの居場所事業の総括について

2 子どもの居場所事業の総括について

3 子どもの居場所事業の総括について

4 子どもの居場所事業の総括について

5 子どもの居場所事業の総括について

6 子どもの居場所事業の総括について

7 子どもの居場所事業の総括について

8 子どもの居場所事業の総括について

9 子どもの居場所事業の総括について

10 子どもの居場所事業の総括について

等)を検討されたい。

5 付属説明書の記載については慎重を期し、記載方法については改善されたい。

**要望事項**

1 ごみの持ち込み時間(現状15時半)の延長を図られたい。

2 南郷上ノ山公園の防犯体制について強化を図られたい。

3 非構造物の耐震対策に取り組まれたい。

4 図書館エントランスの展示は、魅力あるものとなるよう工夫されたい。

5 徴収業務については、記録や資料を一つのものにまとめ、明確しておくべきである。

6 常時、公共下水道未接続家屋のリストを整備しておくべきである。

7 常時、公共下水道未接続家屋のリストを整備しておくべきである。

8 常時、公共下水道未接続家屋のリストを整備しておくべきである。

9 常時、公共下水道未接続家屋のリストを整備しておくべきである。

10 常時、公共下水道未接続家屋のリストを整備しておくべきである。

11 常時、公共下水道未接続家屋のリストを整備しておくべきである。

**近藤 昇一**  
(日本共産党)

**町長質問事項**

**指摘事項**

**意見**

## 平成23年度の決算審議結果

### 5人の議員が討論を行いました。

(窪田 美樹、金崎 ひさ、近藤 昇一、土佐 洋子、守屋 宣弘)

#### ◎一般会計

- ・臨時財政対策債の借り入れを増やし、福祉教育に充てるべき。
- ・就学援助助成制度の準要保護を生活保護世帯の1.3倍から1.5倍に引き上げたことは評価する。
- ・住宅リフォーム助成制度の継続を評価するが、補助率の引き上げや手続きの簡素化など改善を検討すべき。
- ・地域手当、クリーンセンターの休日勤務の問題等、人件費削減に向けての課題を解決すべき。
- ・子どもの放課後の居場所事業が残念な結果に終わったが、次年度の事業のあり方など、成り行きを見守る。
- ・合併処理浄化槽設置事業で6基を見込んでいたが、実際はゼロ。水環境の向上のため利用しやすい方策を検討すべき。
- ・広報発行事業について、配布漏れのないように。
- ・航空写真撮影業務委託に関して、インターネットの活用など工夫をし、予算をほとんど残し業務を遂行できたことを評価する。
- ・保健衛生関連団体等助成事業の動物フェスティバル補助金等の補助金のあり方について考える必要がある。
- ・葉山小学校に導入されるはずだった大型生ごみ処理機が年度末にようやく一色・長柄小学校に設置された。次年度の葉山小学校の設置を望む。
- ・小学校費の不用額が約590万円。よりよい学習環境を子どもたちに提供するために、もう少し何か応用ができないか。
- ・ごみ処理経費が前年度と比較して、2千万円増。議員定数を3人減らして2千数百万円。努力は何にもならなかったのか。
- ・ごみ量は前年度と比較して増えている。森町政4

年間のゼロ・ウェイスト施策は何ら効果を及ぼさなかった。

#### ◎国民健康保険特別会計

- ・一般会計からの繰入れが1億3千万円だが、まだ不足している。
- ・逗子市と比較し、町の保険料は1世帯当たり約2万円高く、是正されていない。

#### ◎後期高齢者医療特別会計

- ・各自治体で後期高齢者医療短期保険証の取組みが違う。高齢者の立場に立った対応を望む。
- ・制度が当初より間違っている。

#### ◎介護保険特別会計

- ・高齢化率の高い町での保険料支出を抑えることを指摘する。
- ・保険料の賦課段階を増やし、所得の少ない方々へ配慮し、サービス低下の声には早急な対応を望む。
- ・配食サービスの変更が行われた年でもあり、決算審査するために付属説明書の書き方についてわかりやすい表示をすべき。

#### ◎下水道事業特別会計

- ・接続率向上の方策に期待する。
- ・接続するのに効果的なように、工事箇所を吟味すべき。
- ・公共下水道審議会の答申は意見を集約したものではないのに、答申をもとに市街化調整区域の一部を下水道区域に残す判断をしたか理解に苦しむ。
- ・当初予算審議の際に提出された工事に変更があった場合は議会に報告すべき。
- ・不用額が前年度比2.9倍にもかかわらず、なぜ残業費が1.5倍にもなるのか。
- ・一般会計から都市計画税全額を繰入れ、ほぼ全額を借金返済に充てている。この特別会計が成り立つことが理解できない。

### 決算審議に要した日数 6日間

#### 各会計別決算の結果

- ◎一般会計 ..... 賛成10人・反対3人▷認定
- ◎国民健康保険 ..... 賛成10人・反対3人▷認定
- ◎後期高齢者医療特別会計 ..... 賛成10人・反対3人▷認定
- ◎介護保険特別会計 ..... 全員賛成▷認定
- ◎下水道事業特別会計 ..... 賛成9人・反対4人▷認定

※議長は採決に加わっていません

# いんないとが 決まりました



◎平成24年度葉山町一般

会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ4億6343万1千円を追加するものです。

その主なものは、消防・

救急デジタル無線整備事業負担金の計上や、不活化ポリオワクチン導入に伴うものです。

◎平成24年度葉山町国民

健康保険特別会計補正

予算(第2号)

前年度からの余剰金1億4431万円を追加するものです。

◎平成24年度後期高齢者

医療特別会計補正予算

(第2号)

前年度からの余剰金2270万4千円を追加するものです。

◎平成24年度葉山町介護

保険特別会計補正予算

(第2号)

前年度からの余剰金等2977万円を追加する

ものです。

◎平成24年度葉山町下水道

事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ149万3千円を追加するものです。

◎葉山町火災予防条例の

一部を改正する条例

電気自動車用の急速充電設備・構造及び管理の基準を定める省令の一部改正に伴うものです。

◎葉山町暴力団排除条例

の一部を改正する条例

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正に伴い、引用条文を改正するものです。

◎葉山町防災会議条例及

び葉山町災害対策本部

条例の一部を改正する

災害対策基本法の一部

改正に伴うものです。

◎人権擁護委員の推薦に

ついて

秋山満江氏が再任され

ました。

◎副町長の選任について

88人の応募の中から、

田邊高太郎氏が選任されました。

◎平成24年度葉山町一般

会計補正予算(第3号)

消防庁舎の空調設備の修繕を行うため、消防費を増額するものです。

◎平成24年度葉山町一般

会計補正予算(第4号)

還付金の更正増により、

歳入歳出にそれぞれ220万円を追加するものです。

◎監査委員の選任につい

て

弁護士の水庫正裕氏が

選任されました。



福祉まつり

(単位：千円)

## 歳入歳出予算の総額

会 計 名	補正前の 予算額	補 正 予算額 (第2号)	補 正 予算額 (第3号)	補 正 予算額 (第4号)	補正後の 予算額	
一 般 会 計	8,859,242	463,431	0	2,200	9,324,873	
特 別 会 計	国民健康保険	3,733,519	144,310	—	—	3,877,829
	後期高齢者医療	765,742	22,704	—	—	788,446
	介 護 保 険	2,441,869	29,770	—	—	2,471,639
	下 水 道 事 業	1,190,787	11,493	—	—	1,202,280
	小 計	8,131,917	208,277	0	0	8,340,194
合 計	16,991,159	671,708	0	2,200	17,665,067	

### 平成24年度 補正予算質疑

問 地方交付税が先送りになるのか。

答 総務部長 支給は遅れるが、全額支給されると報告されている。

問 防災行政無線整備事業と消防救急デジタル無線整備事業との違いは。

答 3カ年事業と確定したも

の。問 介護基盤緊急整備等に還元するには至らない。

問 公共施設整備補助金の積み増しについて。

答 町長 町としてその先行

きが見えない時期に町民

問 町長 公共施設の今後の整備・補修見込み金額の

保健福祉部長 交付金の

3千万円の補助金は、介

護や援護が必要な人に対

して整備や設置をする事

業者に交付される。小規

模多機能型は、通常行わ

れているデイサービス、

訪問介護、そしてシヨー

トステイを複合的にした

事業所である。

問 地方交付税の確定に

伴い、臨時財政対策債の

発行可能額は。

総務部長 臨時債の発行

可能額は、6億288万5千

円。

総務部長 補正予算で

は、消防救急デジタル無

線整備事業費のことと、

負担金が平成24年度から

増しについて。

町長 町としてその先行

把握に努めてから検討。

**問** 公共施設設置整備基金の今年度末見込み額は、**総務部長** 1億6700万円だ。

**問** 太陽光地球温暖化対策事業で今年度2回も補正が組まれた理由は、**生活環境部長** 現在46件交付が決定されているので、今回は10件分を補正した。

**問** 要望があれば、補助金を出し続けるのか。

**町長** 太陽光は自然再生エネルギーの促進という点でぜひ補助を続けたい。

**問** 補助率をアップしたから件数がさらに増えるのでは。

**町長** 当分の金額で補助を継続する。

**問** 国民健康保険の補正で出てきた繰越金を保険者に、返還しなくてはという考えは。

**町長** 保険料の抑制するために一般会計からの繰り入れも継続しているので、基準について改めて検討する。

## 意見書を提出しました

### 神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金の交付に関する意見書

平成20年7月に神奈川県議会で「神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助に対する請願」が採択されたことにより、「神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱」が改正され、県補助金は国庫補助基準と同額となった。

ところが、実態としては市町村に交付される県補助金は補助金交付要綱で定める額の8割を下回っている。その結果、一般財源から不足分を補填するなど、葉山町の財政負担はさらに増大している。

よって、神奈川県においては、神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱に規定する補助基準に基づき、神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金を満額交付することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年10月5日

葉山町議会

提出先 神奈川県知事

### 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書

アスベストを大量に使用したことによるアスベスト（石綿）被害は、多くの労働者、国民に広がっており、現在でも建物の改修、解体に伴うアスベスト飛散により被害が拡大し続けている。

欧米諸国では被害者の多くが製造業従事者であるのに対し、我が国における被害者の多くは建設業従事者であることが特徴であるが、その原因は、建築基準法などにおいて、不燃化、耐火工法の建築資材として建設現場でアスベストの使用が進められてきたことによるものであると考えられる。

建設業界は重層下請け構造であり、また従事者は多くの現場に従事することから労働災害に認定されることにも多くの困難が伴う上に、多くの製造業で支給される企業独自の補償もない状況である。

よって、国においては建設業従事者のアスベスト被害者と遺族への早期救済を実施するとともに、被害の拡大を防ぐ対策を直ちに取り、問題の早期解決を図るよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月5日

葉山町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣

## みなさんからの 陳情・要望のゆくえ

- ◎建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情.....採 択
- ◎ごみ問題を軸に葉山町政の原点である第3次葉山町総合計画後期基本計画をより良いものにするために議会としてできる限りの取り組みをされるよう求める陳情書.....採 択
- ◎県費補助が国庫補助基準を下回らないように財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情.....採 択
- ◎平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情.....採 択
- ◎平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情.....趣旨了承
- ◎地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について（依頼）.....机上配付
- ◎陳情制度を議会基本条例に沿ったものへ改めることを求める要望書.....机上配付

### ◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎特別交付税の減額要因となっている地域手当の超過支給を早急に是正することを求める陳情
- ◎社会福祉法人湘南の風の介護給付費巨額不正受給事件の刑事告発を決議することを求める陳情
- ◎陳情「覚書」第3条の債務債権とは何かを明らかにすること

# 総務建設

## 所管事務調査

● 清水建設からの土地等の寄付について

5月31日、清水建設(株)と清水地所(株)と面談し、  
①防災対策②緑地の確保③景観の面から活用したい、との町長の意向を伝えた。ただし、今回の寄付行為にあたり、清水御三家としては寄付以外に支出をする考えはないとのことであった。

6月5日、清水地所(株)との面談。清水御三家としては家屋の解体、安全面の確保など費用を要する条件については非常に難しいとのことであった。  
6月26日及び27日、土地の寄附採納に伴う諸条件は、管理路(避難路)

の整備、北側斜面地の防災対策、山林の倒木の処理の3点とした。

6月28日、清水地所(株)に諸条件の提示をした。

7月6日、清水御三家より町への寄付取下げの報告。その際、地元町内会と葉山の森を考える会の思いを伝え理解を得た。

● 特定規模電気事業者P  
PSによる役場庁舎への電力供給延期について

3月23日、平成24年6月1日から25年5月31日までの電力供給契約を(株)ラフと締結した。

6月27日、(株)ラフから、電力高騰により安定した高圧電力の供給が見込めない等の理由で契約解除の申し入れがあった。

6月29日、新たな契約先として、町内の14施設に供給が可能であり発電施設が確保されていて、自治体との契約実績がある日本ロジテック協同組合を候補とし、10月1日から電力供給が受けられるよう手続きを進める。

委員から、違約金や損害賠償の件について、質問があり、今回の解除の事由が該当するかどうか弁護士に相談し判断をするとの答弁がありました。

委員長 鈴木道子

## 教育民生

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情

これは、アスベストを大量に使用したことによる健康被害が、建設業従事者を中心に広がっている。労災に認定されるにも多くの困難が伴い、企業独自の上乗せ保障もないのが実情であるため、国に対し、建設業従事者のアスベスト被害者とその遺族の救済、及び被害拡大を根絶する対策を直ちに実施し、アスベスト問題を早期に解決することを求める意見書を提出するよう求めているものです。

審査では、陳情提出者から、救済金額が労災補償に比べ著しく低いことや、対象となる疾病が限られており、補償内容が十分ではないとの説明がありました。

委員からは、「被害者には高齢者が多く、一刻も早く救済すべきであり、法律の抜本的改革が必要である」との意見が出され、採択すべきとの考えが大勢を占め、国に対し意見書を提出すべきものと決しました。

「町の説明では25年度も補助金で事業運営をしていくため、町村会を通して県に満額交付するように要望を行っている」との説明がありました。

各委員から、県は交付要綱に基づき、補助金を満額交付すべきとの意見があり、全会一致により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

委員からは、「被害者には高齢者が多く、一刻も早く救済すべきであり、法律の抜本的改革が必要である」との意見が出され、採択すべきとの考えが大勢を占め、国に対し意見書を提出すべきものと決しました。

平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情

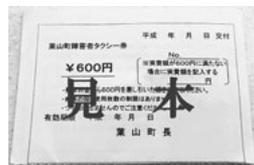
「神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱」の改正に伴い、国庫補助基準を下回らないように県費補助を実施するよう、意見書を県に提出することを求めているものです。

神奈川県要綱改正により、自己負担が増大し、生活が大変厳しいものになったため、25年度予算策定に際して、障害児者・透析者が負担なく医療を受けることができるよう措置を講じ、重度障害者医療費助成制度の継続を求めているものです。

審査では、担当職員から「町では保護者の負担

を求めているものです。委員からは、「本陳情は、主に透析患者について述べられており、他の障害者とのバランスを考え、趣旨了承が妥当」と

「町の説明では25年度も制度の継続を行うとの説明があり、議会としても継続を強く求めるためにも採択すべき」との意見が多く、採決の結果、賛成多数により、採択すべきものと決しました。



タクシー券

# レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

# 委員会

の利用が可能となり、改善が図られている」との説明がありました。それを受け委員からは、願意はおおむね達成されているとの意見が出され、全会一致で趣旨了承すべきものと決しました。

委員長 待寺真司

## 議会運営

8月31日、定例会の日程を決定しました。そして、平成23年度一般会計決算並びに4特別会計各決算審査のため、6人で構成の決算特別委員会を、また「第三次葉山町総合計画後期基本計画」の審査のため、議員全員で構成の総合計画特別委員会を設置することとしました。公募した副町長の選任については、9月5日の本会議で審議する

こととしました。

10月2日、「町民との会議」については、議会報告会として「第三次葉山町総合計画後期基本計画」をテーマに12月15日に開催することとし、役割分担等を決めました。

10月9日、「第三次葉山町総合計画後期基本計画の策定について」再議の件の取り扱いについて、10月11日の一般質問終了後に本会議で審議することとしました。

## 調査視察

7月4日～5日、議会改革の懸案事項について、委員会視察を行いました。視察地及び視察目的

- ① 福島県南会津町議会  
・住民との意見交換の場及び議会報告会について
- ② 議員問討議について
- ③ 福島県会津若松市議会  
・政策形成サイクルについて
- ④ 議員問討議について
- ⑤ 今後の議会改革の取組

今回の調査視察では、先進的な議会改革の取組

みをして他自治体議会を訪ねて、それぞれの議員の生の声を聞くことができ、大いに参考になる視察でした。

委員長 守屋巨弘

## ごみ問題特別

ごみ問題を軸に葉山町政の原点である第3次葉山町総合計画後期基本計画をより良いものにするために議会としてできる限りの取り組みをされるよう求める陳情書

## よう求める陳情書

- ① 「葉山町のごみ処理を近隣自治体との協力を基本に行うことを求める決議」を実現すること。
- ② ごみ処理処分のあり方や方向性に言及した、葉山町として責任あるごみの処理処分の計画を策定すること。
- ③ 以上を盛り込んだ総合計画後期基本計画を先ず定め、それに沿った実施計画とごみ処理基本計画を早急に定めること等を基本に、ごみ

処理問題の解決を議会として取り組むことを求めているものです。

審査の中で、「どの近隣自治体と協力するのか具体性に欠けるので賛成できない」とする意見がある一方、「極めて妥当であり、町側に再度議会の意思を示すため採択すべき」「町長マニフェストにも近隣自治体とのパートナーシップで安定的なごみ処理体制を再構築すると掲げている。それに沿っている」等の意見が大勢を占め、採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決しました。

7月19日、「ごみ処理基本計画」改定について中間申し入れ書の回答の説明を求めました。町長から「現在のごみ資源化・減量化に向けた検討を行っているので、改定時期について示せない。中間申し入れの項目のみに変更を加え、全体の見直しに影響させない方法が可能かどうかも後に期待」として紹介さ

討している」という趣旨の説明がありました。小計画等の用語の説明も納得できないものでした。

## 所管事務調査

● クリーンセンター排出水の場外排出調査報告について

県の測定指示個所に焼却炉排水（原水）、施設下排水口を加え測定、との説明がありました。

## ● ごみ裁判の経過

東京高裁から、和解条件を検討するよう提案がありました。

## ● 横須賀市ごみ焼却（長坂）に関する環境影響調査の進行状況について

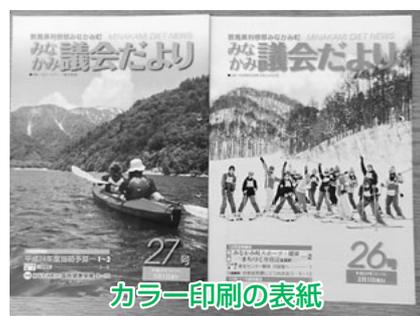
パブリックコメントは終了。評価のための調査に数年必要との説明がありました。

委員長 横山すみ子

## 議会広報

## 調査視察

7月12日～13日、平成23年度町村議会広報全国コンクールにおいて「今



れた、群馬県みなかみ町議会及び埼玉県大里郡寄居町議会を視察しました。今回の調査視察は議会広報特別委員会にとって初めての試みでしたが、実際に他自治体議会に伺い、特色ある「議会だより」を目の前にし、編集委員との質疑から、町民に親しまれ、議会活動を分かりやすく伝えるために努力工夫を重ねている姿に触れることができ、委員全員が刺激を受け大いに参考となりました。

委員長 土佐洋子

# 第三次葉山町総合計画後期基本計画修正可決

9月5日再提案された議案審査のため、議長を除く全員による特別委員会を設置しました。  
委員長 鈴木道子・副委員長 荒井直彦

## 総合計画特別委員会

9月13日及び14日、担

9月13日及び14日、担  
当職員から説明を受け質  
疑応答の後、町長に4項  
目6点について質疑を行  
いました。質問項目は、  
次のとおりです。

① 第四次総合計画基本  
構想の前倒しはできな  
かったのか。

② ごみ焼却炉の焼却計  
画について。

・ 総合計画特別委員会  
審査報告（平成24年6月  
26日）で指摘したにもか  
かわらず記載しなかった  
理由。

・ 焼却計画を明記する  
とダイオキシン類に係る  
補助金を返還しなければ  
ならないのか。

・ 「ごみ問題を軸に葉  
山町政の原点である第三  
次葉山町総合計画後期基  
本計画をより良いものに  
するために議会としてで  
きる限りの取り組みをさ  
せるよう求める陳情書」  
を議会は採択したが、そ  
れを踏まえた記載に改め

③ あらかじめ議員又は  
会派から意見を聴取した  
というが、出てきた議案  
に対して多くの疑問を  
持っているのは議会対策  
が不十分ではなかったか。

④ 計画期間を3年間と  
することや焼却計画につ  
いて、原案を修正のうえ  
再提出する意思はあるか。  
質疑の結果、町長に撤  
回・修正の意思なしと認  
め、横山すみ子委員ほか  
8人からと、土佐洋子委  
員からそれぞれ修正案が  
提出され、本案とあわせ  
て議題としました。

採決の結果、土佐洋子  
委員から提出された修正  
案は賛成少数により否決  
すべきものと、横山すみ  
子委員ほか8人から提出  
された修正案は賛成多数  
により可決すべきもの  
と、修正可決された部分  
を除く原案については全  
会一致により可決すべき  
ものと決しました。

## 議会修正箇所

計画期間を基本構想と  
合わせ、平成26年度ま  
での3年間とした。

・ 防災機能の充実におい  
て「平成23年3月11日  
に発生した東日本大震  
災を踏まえ」を明記。

・ 下水道整備において  
「計画的に進める」の  
文言を削除等。

・ 廃棄物の処理・再資源  
化の推進において「焼  
却炉の焼却」「近隣自  
治体との連携に着手」  
等の将来展望を明記。

・ 一般廃棄物（ごみ）処  
理基本計画の早期改訂  
を明記。

・ 成果指標について整理。  
消防組織の強化・充実  
において「消防力の整  
備指針に近づくよう消  
防職員の増員を図る」  
等を明記。

・ 「給与適正化」を「給  
与等の適正化」と修正。  
その他、数カ所の字句  
について整理。

## 10月5日 本会議での審議

賛成多数で修正議決しました

原案及び修正案に反対 修正案に賛成

計画期間を基本構想と  
合わせ、平成26年度ま  
での3年間とした。

・ 基本構想に反対なので  
それを基に策定される後  
期基本計画には同意しか  
ねる。

・ 基本構想を前倒しで見  
直すべきである。

・ 「焼却の方針が決定し  
ているため」という修正  
案は賛成しかねる。

・ 修正案は、ごみ裁判が  
継続中なので「近隣自治  
体」と明記するのは危険  
である。

・ 原案には消防職員の増  
員計画が示されていない。  
計画期間は3年間にす  
べきである。

・ 成果指標を加えたこと  
は評価するが、不適切な  
ものが見受けられる。

・ 住宅確保の政策が基本  
計画にはない。

・ 国民健康保険料軽減及  
び葉山町耐震改修促進計  
画について何ら言及して  
いない。

・ 計画期間を3年間にす  
べきである。

・ 成果指標を加えたこと  
は評価するが、不適切な  
ものが見受けられる。

・ 住宅確保の政策が基本  
計画にはない。

・ 国民健康保険料軽減及  
び葉山町耐震改修促進計  
画について何ら言及して  
いない。

・ 基本構想に反対なので  
それを基に策定される後  
期基本計画には同意しか  
ねる。

・ 基本構想を前倒しで見  
直すべきである。

・ 「下水道認可区域等の  
見直しなどを行い」の記  
載は不要である。

・ 消防本部職員定数は見  
直すべき。

・ 再提案された原案には  
6月議会で議会からの指  
摘が反映されていない重  
要な事項がある。

・ 目標年度を26年度に修  
正すべき。

・ ごみ処理基本計画の改  
訂と焼却炉の焼却につい  
て明記すべき。

・ 目標年度を1年延ばし  
たが、目標値には一切手  
がつけられていない。

・ 不適切な成果指標は削  
除すべき。

# 10月11日 本会議での審議

## 修正議決した先の議決のとおりと決しました

修正議決したことに対し、10月9日、町長から再議書が提出されました。

「旨を記述しているが、近隣自治体との連携については、現在、横須賀・三浦の両市とは係争中であるの見通しが不透明な状況を考慮していない。具体的な協議相手の選定もままならず、今後、実施計画の策定及びその事業執行において、基本計画との整合性が取れない。」

## 再議の質疑

手続きを反故にし、議会と行政はもとより策定に参加・尽力した町民との信頼関係を損ない、今後の町政の停滞を招く恐れを強く危惧する。

**町長** 「協議に着手」との指摘であれば、相手及び内容を提示して欲しい。  
**問** それこそ、裁量権の侵害になると思うが。  
**町長** 施策についてはゆだねて欲しかった。  
**問** 他の主要施策に踏み込んだ部分もあるが。  
**町長** それらは尊重する。  
**問** 議会は様々な調整を試みたが、どの場面でもうして欲しかったのか。  
**町長** 当初は議会の意思に任せる気持ちがあった。  
**問** 議会の権能とは。  
**町長** 議決権、修正権等。  
**問** それ自体を否定しているのか。  
**町長** 行政として、その方策、手段について何もないまま修正議決されたので、一方的と捉えた。  
**問** 修正することは「策定に尽力した町民との信頼関係を損なう」ことなのか。審議会等の委員を経験した副町長の見解は。  
**副町長** 再議書全体のトーンとして、言葉は慎重に選ばれていると認識。

## 「再議」とは

普通地方公共団体の長が異議ある議決・違法な議決等に対して、再度の議決を議会に求める制度です（地方自治法第176条）。

再議に付された理由の要旨は、次の2点です。

① 主要施策では、「近隣自治体との協議に着手す

終局面で修正可決することとは、長期にわたる策定も図らずに」とあるが、

調整も図らずに議決の最終局面で修正可決することとは、長期にわたる策定も図らずに」とあるが、

調整も図らずに議決の最終局面で修正可決することとは、長期にわたる策定も図らずに」とあるが、

## 後期基本計画決定の経緯

### 【平成23年度】

○9月1日 全員協議会にて計画案（パブリックコメント用素案）について担当課から説明

### 【平成24年度】

○5月30日 議員懇談会にて後期基本計画案について担当課から説明

○6月6日 第2回定例会に提案（議案第11号）

○6月8日 総合計画特別委員会設置・付託

○6月13～15日 総合計画特別委員会にて審査・採決（賛成なしで否決）

○6月25日 本会議にて否決（賛成なし）

○9月5日 第3回定例会に再提案（議案第30号）  
総合計画特別委員会設置・付託

○9月13・14日 総合計画特別委員会にて審査・採決（賛成9人で修正可決）

○10月5日 本会議にて修正議決（賛成9人）

○10月9日 町長から再議に付される

○10月11日 本会議にて再議の審議「先の議決のとおり」決定（賛成9人）

※先の議決とは、10月5日の修正議決されたもの

# 議会報告会開催のお知らせ

主催：葉山町議会

## ～第三次葉山町総合計画 後期基本計画の審議経過について～

日 時	場 所
12月15日（土） 14：00～15：30	福祉文化会館 大会議室 （駐車場は、福祉文化会館駐車場のほか、役場駐車場をご利用ください）

※事前申し込みは不要です。どなたでもお気軽にご参加ください。

※議会だより109号及び110号をご持参ください。

第3回定例会において修正議決した第三次葉山町総合計画後期基本計画の議会での審議の経過について、報告会を開催することとしました。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

◇問合せ先◇ 議会事務局 ☎046(876)1111 内線421

# 結 果

議案・意見・陳情等		議員氏名（議席順）												結 果		
		鈴木道子	近藤昇一	窪田美樹	守屋巨弘	田中孝男	中村文彦	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	長塚かおる	横山すみ子	金崎ひさ		待寺真司	畑中由喜子
議案	平成24年度葉山町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
意見	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書 （委員会提案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見	神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金の交付に関する意見書 （委員会提案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
陳情	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情	ごみ問題を軸に葉山町政の原点である第3次葉山町総合計画後期基本計画をより良いものにするために議会としてできる限りの取り組みをされるよう求める陳情書	○	×	○ ×討論	○ ○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情	県費補助が国庫補助基準を下回らないように財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情	平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	○	○	○ ○討論	×	○ ×討論	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情	平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承

○は提案者 ○は賛成 ×は反対

\*議長に表決権はありませんが、可否同数のときのみ議長が決します。

**議 会 活 動 日 誌**

今回は、第2回定例会終了以降、第3回定例会終了までの活動報告をいたします。

<p>11日 議会広報特別委員会</p> <p>5日 本会議（定例会）</p> <p>31日 議会運営委員会</p> <p>30日 全員協議会</p> <p>7日 議会広報特別委員会 教育民生常任委員会 ごみ問題特別委員会</p> <p>31日 議員懇談会</p> <p>8月</p> <p>19日 議会広報特別委員会 ごみ問題特別委員会 総務建設常任委員会</p> <p>17日 議会広報特別委員会</p> <p>12、13日 議会広報特別委員会調査視察</p> <p>11日 議会広報特別委員会</p> <p>10日 教育民生常任委員会</p> <p>9日 教育民生常任委員会</p> <p>6日 議会広報特別委員会</p> <p>5日 議会広報特別委員会</p> <p>4、5日 議会運営委員会調査視察</p>	<p>7月</p> <p>4、5日 議会運営委員会</p> <p>12日 本会議（定例会）</p> <p>13日 議会特別委員会</p> <p>14日 総合計画特別委員会</p> <p>18日 決算特別委員会</p> <p>19日 決算特別委員会</p> <p>20日 決算特別委員会</p> <p>21日 決算特別委員会</p> <p>24日 決算特別委員会</p> <p>26日 議会特別委員会</p> <p>27日 決算特別委員会</p> <p>28日 議員懇談会</p> <p>10月</p> <p>1日 総務建設常任委員会</p> <p>2日 議会運営委員会</p> <p>4日 決算特別委員会</p> <p>5日 総合計画特別委員会 教育民生常任委員会</p> <p>6日 本会議（定例会）</p> <p>9日 本会議（定例会）</p> <p>10日 議会運営委員会</p> <p>11日 本会議（定例会）</p>
--	---



# いっばん質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

近藤昇一

## 医療費の一部減免制度創設は 町長 導入に向け調整を図る



**問** 医療機関で払う医療費の一部減免制度創設は、国保法の目的のとおり、社会保障と考えるべきではないか。

**町長** 必要な制度。導入に向け調整を図る。

**問** 国民健康保険財政は国の負担の削減で、財政難、保険料高騰、滞納増という悪循環に陥っている。法はその目的を「社会保

**町長** 成り立ちは相互扶助だが、一方で社会保障の観点も必要。

**問** 認識が違う。新国保でどのように考えていくのか検討したい。

障」と明確に位置づけている。平成22年度の一般会計からの繰り入れは県下33市町村中31番目で一人当たり308円。大磯町は全県1位で3万5396円と大きな差が出ている。年間保険料は逗子市と比較して2万円も高い。格差を解消するつもりは。

**町長** 今の医療制度の中でどのよう

**問** 神奈川臨調の影響は。

**総務部長** 24年度予算段階で、補助金19件、8604万6千円が対象。

**問** かつて副町長は、葉山町情報公開検討委員会委員として葉山町情報公開条例の審査を行い、「知る権利」削除を決めたが、議会は「知る権利」を盛

窪田美樹

## 戸別収集拡大の取り組みは 生活環境部長 2月に3地区を追加する



**生活環境部長** 研究はしていない。ごみの減量化が第一と考える。

**問** 来々2月のごみの戸別収集拡大に向けた進捗状況は。

**生活環境部長** 3地区を追加し、10月中旬に1回目の説明会を終わらせる。

**町長** 目玉となる、住みた

**問** 技術革新を含めたご

**町長** 課題とマッチしないと思う子育て支援策は。

**町長** 課題とマッチしない

に待機児童ゼロを目指したい。

**問** 長柄小学校トイレ臭

**水道敷設の予定は。**

**教育長** 重点的にトイレ改善を行った。現段階で

**町長** 地形や気候を考慮

**問** 国も原発ゼロ宣言を

した。町として原発ゼロ

に向けての考えは

**町長** 原発に頼らない社会の構築を望む。



長柄小学校のトイレと  
浄化槽マンホール



り込む修正をした。どのように総括するのか。  
**副町長** 「知る権利」を否定するつもりはない。最大限尊重する。

守屋 亘弘

# し尿処理施設建設を

## 町長 し尿等と下水道との処理一元化だ



**問** 公共下水道事業開始以来の総事業費約470億円に、平成23年度末の未償還元金約92億円プラスそれに対する利息返済額を加算した金額を総事業費とするべきでは。

**町長** 現在浄化センターの一部分を間借りする形となる目的外使用承認による

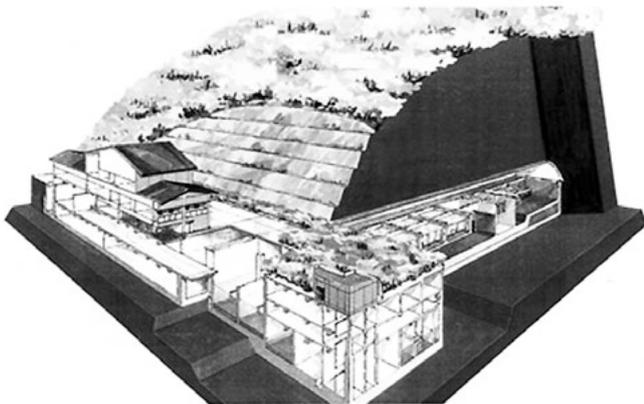
**町長** 平成23年度までの実績の観点からすると、事業を実施するために要したすべての経費の累計の約470億円が総事業費と考えている。しかしながら、未償還元金とそれに対する利息返済額を加算し額を総事業費とすべきとの考え方については将来負担を見据えた際の総事業費の考え方の一つになり得る。

施設への投入施設建設設計画で、現在目的外使用の許可を得るべく努力中のようなのだが、この場合は5カ年計画の暫定的な措置となるので、本来はし尿等の処理施設建設が必要ではないか。

**問** 恒久的な処理施設建設計画を明示せずとも、承認が得られるのか。

**町長** 恒久的な処理施設建設計画を明示せずとも、承認が得られるのか。生活環境部長 計画提示は必要ない。

今後減少が見込まれるし尿等を適正かつ効率的に処理することを、勘案すると、下水道処理とし尿等処理を一元化することが肝要である。従って、



葉山浄化センター鳥瞰図（断面イメージ）

長塚 かおる

# 児童虐待防止対策について

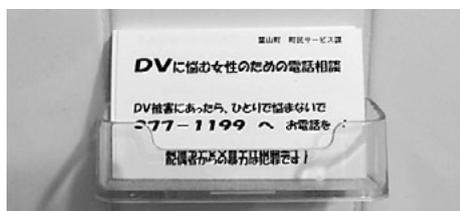
## 町長 早期発見に関しては一定の成果が得られている



**問** 鎌倉・三浦地区児童相談所における虐待通告相談受理事件数は、全体的には減少気味であったが、葉山町だけは増加していることについての見解は。

**町長** 内容を精査することが重要。行政が関与しなければならぬことに十分注意を払いたい。

**問** 児童虐待防止策として、新規に親子の肯定的なやり取りを促進するN P、C S Pの講座を開設したが、昨年まで行っていたトリプルPの取り組みについては。



電話相談カード

ンケート等を踏まえて、一層強化していきたい。

**町長** 現状は、待機児童解消に力を入れているが、いずれは新たな保育園の設置の意向で検討準備に入っている。

**問** 平成21年度に行われたアンケートで、就労中、希望も含めた親が認可保育園に預けることを多く希望しているが、待機児童や、兄弟で保育園と幼稚園と別々に預けている例がある。また、一時預かりの希望も増えている。

**町長** 子どもたちを見守る町民力を信じ、学校近隣の場所の提供と実施に向けて努力したい。改善策は。

中村文彦

議員時代に説明責任を果たしていない  
町長 確かに果たしていなかったかもしれない



**問** なぜ町長は、マニフェストで廃炉にする話をしたのか。

**町長** 再稼働は行わないので廃炉という言葉を利用した。

**問** 森町長の判断と変わっていない。何で廃炉にすると町民に向かって発信する必要があったのか。

**町長** 廃炉にするという方針を示すといった意味で、記述した。

**問** 廃炉への計画について、炉を使わないのだから見えないでは、ビジョンが見えない。計画的に廃炉への道筋を示していただきたい。議会より総合計画に対し修正案を提出したがどうか。



クリーンセンター焼却炉

**町長** 他自治体との共同処理等の中長期的な安定な処理を確保し、社会資本を充足するための計画が必要である。

**問** 総合計画にしなければ、絵に描いた餅だ。マニフェストに、ごみ問題について近隣と連携するところある。議会は、近隣自治体で進めていくべきと総合計画に追加したら、再議とした。町長は矛盾している。

**町長** 答弁は差し控えた。議員時代に、廃炉は休止の意味だとあいまいな発言をしている。町民に対して、説明している。

**町長** 確かにそうかもしれない。指摘は残念だ。町長は廃炉にする公表した。どう考えているか。

**町長** 廃炉の定義から、改めて勉強した。

田中孝男

今後の下水道については  
町長 財政状況が厳しい中、面整備をペースダウンして対応予定



**問** 平成4年に総額289億円で全町整備する計画としてスタートしたが、4年も経たないうちに総額を40億円の事業に変更、民間では考えられない大変な事だ。この289億円の計画を町に示したのはどこか。

**生活環境部長** 下水道事業団に根幹的施設の建設について委託を行っていた。

**問** 町長の所信表明では24年6月には全体計画の見直し変更について示すとあったが示したのか。

**町長** 合併浄化槽の導入についての方策が定まらず遅れている事はお詫びする。

**問** 今回事業認可を受け24年3月から始まる第5次計画では、今年7ha、年次を追って11ha、23ha、24ha、24haと整備をする計画となっているが町長の年間7haしか行わないという考えと全く合っていないが。

**町長** まだまだ職員との対話が足りない。早急にどうして行くかの方針を説明できるようにしたい。

**問** 下水処理場の最大能力について何度も数値が変わっているが、第4系列まで整備が本当に必要だったのか。また設置してから

**問** 約6億円だ。今までにテストも含めて実際に運転したことがあるか。

**生活環境部長** 今まで利用した事はない。

**問** 20年間一度も稼働していない酸素の供給設備はいくらだったのか。

**生活環境部長** 今は、分らない。



葉山浄化センター

荒井直彦

分署新設と増員計画はどちらが最優先か  
町長 現状の優先順位は消防装備と人員増員である



**問** 消防分署の新設について前森町長から引き継ぎは。

**町長** 引き継ぎはなかった。職員から懸案事項として報告は受けている。今後、緊急体制を充実させるため検討を進めている。

**問** 消防職員増員計画は。

**町長** 消防本部消防増員意見書の提出を指示しており、この意見書に基づき、消防長と細部にわたり検討して消防力の増強をはかりたい。

**問** 消防力強化において分署新設と増員計画は、どちらが最優先か。

**町長** 現状の優先順位は消防装備と人員増員である

り、今年度は救助工作車の更新と救助資機材の整備を実施している。

**問** 南郷地区活性化事業について今後、どう町は関わるか。

**町長** 町行政として、商業系の交流拠点として整備する。南郷地区の活性化を起爆剤に、本町の商業や観光の発展を図り、更に活力ある町にしていくために商工会の活動を支援すると共にこの事業を推進していく。

**問** イトーピアアコミプラ跡地の町有地の利用に関して。

**町長** 土地利



葉山町消防本部

**問** 会計処理上、名目は違うが、アルバイト賃金、収集委託等、計4億円が人件費と考えるが。

**町長** そう認識している。

**問** 燃えないごみ等の収集を町職員で行うことにより、約4千万円が削減できる。また、休日収集の中止により、1千万円余削減できるが。

**町長** 戸別収集が行き渡った後に休日収集の回数減らす。

**問** 容器包装プラの分別は多くの観点から無駄が多い。日本容器包装リサイクル協会に加入する必要があるのか、4割の自治体は加入していないが。

**町長** しっかりと精査する。計画の改



金崎ひさ

ごみ行政における人件費は  
町長 約3億1千万円



ごみの行財政改革を

て判断する。

**問** 資源ステーションの全町実施はいつからか。

**町長** ごみ裁判が決着してから手をつける。

**生活環境部長** 戸別収集 10月31日の結審後の実施と同時に行う。

**問** 現在19ある集団資源回収協力団体を活用して、牛ヶ谷戸方式をすぐにも行うべきだ。それによりミックスパー収集

**町長** 可能な限り上告を避けるようお願いしたいが、判決を踏まえて精査する。

**副町長** 町長の考えは通り。

**副町長** 町長の考え通り。

待 寺 真 司

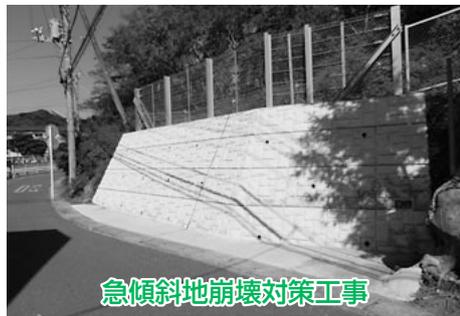
急傾斜や地滑り地域の安全対策を前倒しで  
町長 災害時に明らかな危険箇所等は速やかに対応する



**問** 津波ハザードマップの更新版は、いつごろ町民の皆様へ渡せるのか。  
**総務部長** 12月中旬には配布できるように、現在準備を進めている。

**問** 議員時代から提唱し、マニフェストにも謳っている防災ガイドブックに関する取り組み状況は。  
**町長** 本年6月に予算が認められ、順次作成に取り掛かっている。速やかに冊子として配布できるように進めているところだ。

**問** 急傾斜地及び地滑り指定区域の、土砂災害防止パトロール実施の際に、同行する考えはあるか。  
**町長** 危険箇所の発見があれば、速やかに報告を



急傾斜地崩壊対策工事

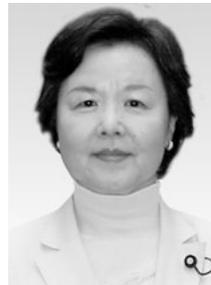
受けて現地踏査したい。パトロールへの同行は現状では行っていない。

**問** 急傾斜や地滑り地域の安全対策工事は、前倒しで進めて欲しいが。  
**町長** 県が非常に力を入れて進めている。町としても財政的なゆとりはないが、明らかな危険箇所や豪雨で崩落した前田川の護岸などは、速やかに対応するべきと考える。

**問** 急傾斜地の既成区域における、津波や洪水発生の危険箇所がなかったが、新規工事に関しては、避難階段の幅員など県と協議し取り組みたい。  
**問** いじめがエスカレーターすると非常に重大な事態を招く。対応策は。  
**教育長** 早期発見・早期対応を基本に取り組み。

鈴木道子

高齢者の肺炎球菌ワクチン補助実施の考えは  
町長 検討を重ねている



**問** 先般、副町長の人事で初めて公募をしたが、町在住でありながら、議員は誰も知らなかった。略歴書類一枚だけの資料で判断をせよとはあまりにも安易すぎるがどうか。  
**町長** 今後の改善課題だ。

**問** 自治体としての管理が甘い。当事者はどうか。  
**副町長** 慎重に研究を重ね整備する必要がある。

**問** 副町長は国県に多くの知己があるとのことだから、その人脈で県道311号線長柄松久保交差点の信号機設置要望と川久保交差点付近の歩道危険箇所解消を実現して欲しいがその決意はあるか。  
**副町長** 真摯に受け止める。

きちんと整理をして示すことを決意として述べる。

**問** コンビニでの証明書等の交付について伺う。現在一部自治体で実施している。来春から大手2社が参入し、3社が取り扱う事になり、参加自治体数も増加が見込まれる。住民サービスの向上、窓口業務負担の軽減、コストの低減、また個人情報保護と偽造改ざん防止のセキュリティ対策がある。実施すべきと考えるがどうか。

**町長** 全国的増加傾向だ。動向を踏まえつつ検討を重ねる。

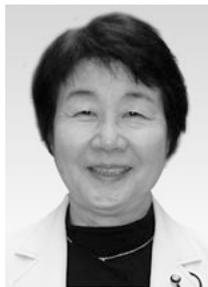


**問** 高齢者の福祉の増進から、いきがい事業団への発注を考慮すべきと考えるがどうか。  
**町長** 方針についての話し合い等を重ねていく。

**問** 高齢者の肺炎球菌ワクチン補助実施自治体も増加した。実施の考えは。  
**町長** 検討を重ねている。

横山すみ子

町長 自治体間の裁判は異例で、早期解決すべき



問 町長は町民との懇談 究中である。

会をいつ実施するのか。 問 本町は昭和40年代の

町長 遅れて申しわけな 人口急増に対応して、学  
いが、11月に4小学校区 校施設等、公共施設が多  
く建設された。これから  
で実施する。

問 ごみ処理問題の現在  
の課題は何か。

町長 クリーンセンター  
焼却炉の休止でごみ焼却  
を委託中。また横須賀市・  
三浦市とのごみ問題での  
裁判が大きな課題。

問 町長はこのごみ問題  
裁判の早期終結を望むか。

町長 近隣自治体との裁  
判中という状況は極めて  
異例で、早期解決すべき  
と考える。防災など様々  
な問題も自治体同士パー  
トナーシップを結びたい。

問 事業系ごみの収集手  
数料は近隣市より安く、  
町の収集量が増えている。  
是正の取り組みは。  
生活環境部長 調査の  
上、取り組む。



他自治体の公共施設白書

問 町が防災と防犯に特  
化したツイッターを始め  
て広報しないのか。  
総務部長 9月号には間  
に合わなかった。  
問 湘南ビーチFMが海  
抜6.5mの逗子市池子に移  
転するが、海抜が低く場

土佐洋子

町長 防災体制を整備、防災計画の見直しに努めている



所の選択は適当なのか。 問 待機児童ゼロへの取

総務部長 海抜は低いが、 問 待機児童ゼロへの取  
海岸からは離れている。 り組みは。

問 災害時のアレルギー 町長 来年度は今ある施  
患者用物資供給の対応は。 設で弾力運営を図る。今  
総務部長 逗子市がNP 後、保育所の新設等も視  
Oと協定を結んだ。協定 野に入れ検討したい。

問 堀内会館の辺りから  
高台へとモデル設置した  
避難誘導灯の整備拡大は。

総務部長 葉山マリーナ  
の山側を登る道路整備と  
発光錘の設置をする。

問 災害時の夜間、明る  
く光る街灯設置の進捗は。

都市経済部長 防災無線  
のデジタル化に伴い、街  
灯にバッテリー等の照明  
をつける。

問 町が防災と防犯に特  
化したツイッターを始め  
て広報しないのか。

総務部長 9月号には間  
に合わなかった。

問 湘南ビーチFMが海  
抜6.5mの逗子市池子に移  
転するが、海抜が低く場



災害教育書

# 議員研修会

山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授をお迎えして、10月6日に「今後の町村議会のあり方―地方議会の役割を踏まえて議員報酬・定数を考える―」と題するご講演をいただきました。

今回は初めての試みとして、町民の皆さんに公開して実施しました。傍聴者からは、これからも研修会の公開を望む発言がありました。

分権時代にふさわしい議会として、更なる改革に取り組まねばと感じました。

・地方議会を巡る新しい状況として「①閉鎖的な状況として②執行機関の追認機関から、それと切磋琢磨していく議会に変わる（一問一答方式の採用や反問権の付与など）③議会が執行機関への質問だけの立場から議員同士の討議を中心とした議会運営に変わる」とが必要である。

・議員定数・報酬を考慮するにあたり、効率性を重視する行政改革の論理や現議員の内部の話として

・総合計画は地域経営の軸であり、計画期間と首長の任期の整合性を確保すべきである。

・議会事務局の充実は、住民代表機関のサポートとして重要。議会事務局の人事権は議長が持つている。残念ながら、事務局の人数を増やすのは難しい時代だが、しっかりと議会が動くために政策法務・企画・財政に強い事務局を要望すればよい。

秋晴れの空の下、10月13日葉山小学校運動会が開催されました。六年生が「ロックソラン」を踊り始め10年、今では伝統となり取り組む前から気合が十分でした。122人、地元町内会の法被をまとい気持ちもぐっと引き締まった表現となりました。

## 表紙説明

秋晴れの空の下、10月13日葉山小学校運動会が開催されました。

六年生が「ロックソラン」を踊り始め10年、今では伝統となり取り組む前から気合が十分でした。122人、地元町内会の法被をまとい気持ちもぐっと引き締まった表現となりました。



2012年も残りわずかとなりました。町民の皆さまにとっても、どのような一年でありましたでしょうか。

議会も、若い町長・副町長を迎え、二元代表制の一翼として、時にサポートし、時に監視機能としての重要性が増している事は、議員として重く受け止めて活動をしていきます。

## 町長行政報告

(1千万円以上5千万円未満の契約)

- ① 不燃物施設諸機器補修 1029万円
- ② 一色小学校公共下水道接続工事 1512万円
- ③ 葉山処理区(一色)枝線築造工事(その5) 2281万6500円

若いリーダーが新しい葉山町の魅力を発信し、クリーンセンターの廃炉の道筋をどう計画し、近隣自治体とどうパートナーシップを行っていくのか、新町長のマニフェストが十分達成可能なのか、議会は、町民にわかりやすく説明し、町長は何を考えているか。また、議員それぞれがどう判断し、討論したか、議会広報やインターネットで報告してまいります。

11月5日記 中村文彦 金崎ひさ

## 議会交際費支出状況 (平成24年4月～9月)

平成24年度上期支出総額は149,190円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください。)

種別	件数	金額(円)
慶弔費	2	25,750
会費	3	21,000
寸志(祝金)	7	47,660
その他	8	54,780
合計	20	149,190

平成24年 第4回定例会は12月4日(火)からの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。  
<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai>

議長 畑中由喜子  
議会広報特別委員会 土佐洋子 窪田美樹

中村文彦 長塚かおる  
金崎ひさ 待寺真司

